

母と子のにわ

—利用者のみなさまと母子医療センターをつなぐ—



発行
地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター



第27号

2012 Winter

目次:

ありがとう！ 『母と子のにわ』	1
立体駐車場の建設工事が 始まりました	2
がんばり屋さん 東野史昭さん	3
モコニャンのご紹介	4

ありがとう！『母と子のにわ』

母子医療センターは昨年10月に、設立30周年を迎えました。これまで私たちを見守り続けてくれた『母と子のにわ』でしたが、一時閉鎖することになり、1月25日にお別れのセレモニーを行いました。寒い日でしたが、たくさんの人に集まっていただき、ブロンズ像とモニュメントに献花し、「思い出のアルバム」を合唱しました。

当面この『母と子のにわ』は、患者さん用の仮の駐車場とします。その間に研究棟裏の駐車場を立体駐車場とし、より多くの車を止めることができるようにします。

今年夏には職員用の託児所を移設し、その跡地の周産期棟の北側に新手術棟を建設します。新手術棟の地下は中央材料滅菌室等で、1階は救急外来と集中治療室、2階は手術室で、完成は平成26年の春です。

また『母と子のにわ』の北側の旧テニスコート跡に、新しいファミリーハウスを建設します。ファミリーハウスは遠方から手術を受けにいられたり長期間の入院になる患者さんのご家族の宿泊施設で、12部屋の3階建てです。1階はロビーや多目的に使用できるスペースとし、院内学級のお友だちが入学式やいろいろなイベントにも利用できるようにしたいと思います。

新棟に手術室、集中治療室、中央材料滅菌室等が引っ越ししますので、その跡地や現在のファミリーハウスは、狭くなった生理機能検査室（超音波検査や脳波検査など）を広くしたり、院内学級に利用します。また患者さんができるだけゆっくりくつろげるようなスペースにも活用したいと考えていますので、いい提案がありましたらどしどしご意見をいただきたいと思います。

工事日程が決まりましたら順次皆様へお知らせします。騒がしい毎日が続くことになるとは思いますが、どうか皆様のご協力をお願い致します。

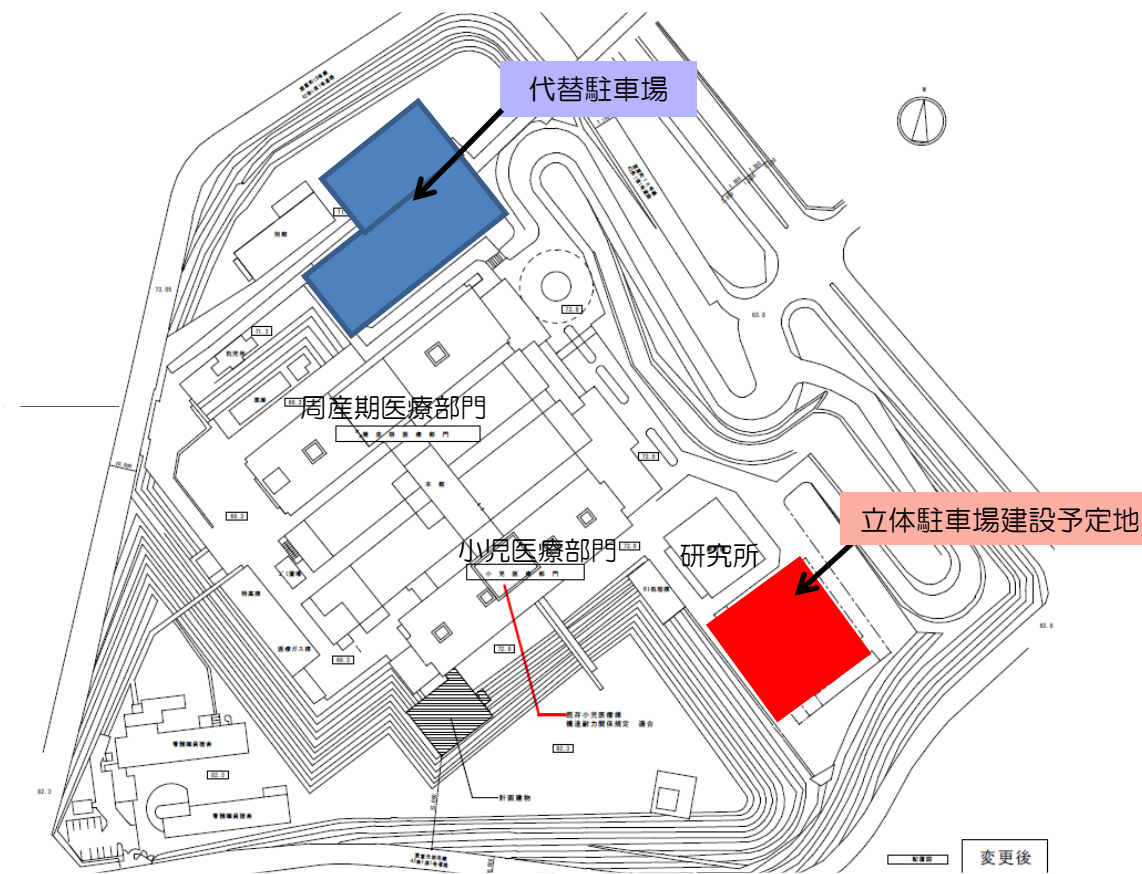
(病院長 岸本英文)



立体駐車場の建設工事が始まりました

このたび「母と子のにわ」と「テニスコート」を改修し、代替駐車場が完成しましたので、3月9日（金）より使用を開始いたしました。

さらに、研究所横の第1駐車場は3月14日（水）より立体駐車場の建設工事が始まり使用できません。工事期間中は御迷惑をお掛け致しますが、御協力の程よろしくお願い致します。



立体駐車場

工事期間：3月14日（水）～7月31日（火）（予定）

場所：研究棟横の第1駐車場（赤色部分）

代替駐車場

開設（青色部分）：3月9日（金）～

お問合せ：事務局 施設保全グループ

小児外来内科系に学習コーナーができました

今までは、夏休み期間限定で、会議室の机をならべて学習コーナーを設置していましたが、夏休み以外でも設置してほしいという患者さんからの声をお聞きし、小児外来内科系受付横に学習コーナーを設置しました。

木目調の温かみのある机です。机の前にはコルクボードも設置し、4人が勉強できるスペースがあります。

待ち時間などにご自由にご利用ください。



ヒガシノ フミアキ
がんばり屋さん 東野 史昭 さん

私は昭和60年4月に予定より1ヶ月早く、約2,100gで誕生しました。次の日に食道閉鎖という病気で母子医療センターへ救急車で運ばれ、口から食べ物などで栄養を摂取が出来ず、腸に管を通す腸瘻をし、管から栄養ミルクを入れ



病院のベッドで生後8ヶ月

る手術などして約2年ほど入院が続きました。

2歳～6歳の間も入退院を繰り返しました。6歳から幼稚園に1年だけ通いましたが、卒園間近に体調不良で入院して心肺停止3分などもありましたが無事に助かりました。小学校は入退院を繰り返しながらも通いましたが、小学4年の3学期に体調が悪化して入院し、治療も最終的に右肺を摘出して障害者になりました。



家の花壇で小学1年生

母子医療センターに小学4年から中学2年まで入院し、院内学級で小学5年から中学2年まで勉強して、中学3年の1年間だけ地元の中学で鼻に酸素をつけた状態で通学しました。高校は堺支援学校で、この期間は体調が良くなり鼻の酸素も取れるまで回復し、多少の肺炎で入退院することもありましたが、生徒会で会長&副会長を経験するまでになりました。卒業後は、光明池にある障害者職業能力開発校の試験に合格

して、パソコンの勉強などをしました。約1年8ヶ月で体調不良となり途中退校となりましたが、良い勉強が出来て満足しています。

21歳から近畿中央胸部疾患センターで2度ほど手術をして、家で1年ほど何もせず過ごしていましたが、22歳から堺市東区の日置荘にある中途障害者が多く通所している麦の会ラベンダー作業所に通っています。作業所では営業&ケーキ作り&内職アメ箱詰めなどし、営業では母子医療センター内の看護管理室&ケースワーカー室など約10ヶ所を回り、私の昔を知っている多くの皆様から注文して頂いています。

生まれた時から痛い思い出がある母子医療センターから、今は痛みが和らぐ注文をして頂き本当に有難く思っています。作業所は役員会もあり私は3年連続して役員としてパソコンで会議の資料作成など色々と先輩役員から丸投げされた仕事をこなしています。体調は作業所に通いだしてから良くなり、作業所の方々とプロレス観戦へ行



家の玄関で中学3年生

くほど元気になりました。病気の方は激痛の胆石で母子医療センターへ入院して手術を2回受けたのを最後に最近では1年半以上も入院する事なく過ごせています。



仲間とカボチャを切る26歳6ヶ月

21歳の手術以降は、鼻に酸素がない状態で動く時が不調で、酸素ポンペをキャスターに積み共に行動しています。痰の出し方が下手で気管切開し喉から痰など吸引し、現在も口からは食べ物は無理で飲み物しか摂取が出来ず、腸瘻から栄養ミルクを入れることは続いています。昔は高さなど調整し栄養ミルクを入れるのも大変でしたが、最近は機械で入れられる様になり凄く楽になりました。

母子医療センターで手術&全身麻酔も数えられない回数をし、命の危機を何度あるも乗り越え生存して体中は傷だらけで、雨の日は傷が痛み体がダルイ時もあります。現在26歳になり人生の約3分の1は母子医療センターで過ごしています。周りの人から見れば可哀想とか思われるかもしれませんが、私も病気ばかりで最初ネガティブでしたが、最近半ば諦めたと言うか「なるようになる」と開き直った様な感じになり、1日の起床から就寝まで少しでも楽しく過ごせれば良いとポジティブなのか、先の事を全く考えない様になりました。

最後になりますが、母子医療センターの皆様の御蔭で私の人生が続いていると言っても過言ではないので、母子医療センターからがんばり屋さん執筆を頼まれた時は凄く嬉しく思いました。(東野 史昭)

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立
母子保健総合医療センター



〒594-1101
大阪府和泉市室堂町840
電話 0725-56-1220(代)
Fax 0725-56-5682

ホームページもご覧ください。
<http://www.mch.pref.osaka.jp>

センターからのお知らせ

病院ボランティア募集中

あなたも母子医療センターで
ボランティアをしてみませんか。
興味のある方は
下記までお問い合わせ下さい。

ボランティアコーディネーター
土田
0725-56-1220 (内線2009)

大阪府立母子保健総合医療センター 基本理念

1. 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
2. 患者さん中心の、相互信頼の立場に立った、質の高い医療を行います。
3. 地域の保健医療機関と連携して、母子保健医療を推進します。
4. 母子に関する疾病の原因解明や、先進医療の開発研究を進めます。

センターオリジナルキャラクター

モコニャン のご紹介

当センターでは、設立30周年を記念して、センターオリジナルキャラクターを決定しました。もうすでにセンターホームページでも活躍してくれていたねこのキャラクターを起用し、名前は公募して「モコニャン」に決めました。254件の応募の中から、5つの候補にしほり、最終的には入院している子どもたちに投票してもらって決めました。たくさんのご応募ありがとうございました。

「モコニャン」の名前をつけてくれたのは、和泉市の小学6年生吉川陽奈さんです。「私が初めてモコニャンを見たとき、やさしそうな表情で私を見てくれました。あたたかく笑っていた顔がとても印象的で、もこもこしている顔からモコニャンと名づけました。これからたくさんの人へたくさんの勇気と笑顔をあたえながら、みんなからずっと愛されるモコニャンでいてください。」と、コメントをいただきました。

吉川陽奈さん、すてきな名前をありがとうございました。これから、モコニャンと一緒にいろいろな活動をしていきます。末永くかわいがってください。



モコニャンはセンターホームページ「子どものページ」にも登場します。一度のぞいてみて下さい。